

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課  
 担当名: 自然ふれあい担当  
 内線: 3156

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P15	自然公園満喫プロジェクト事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	自然公園等施設整備費		
事業期間	昭和25年度～	根拠法令	自然公園法、県立自然公園条例		針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	6, 15	
					分野施策	1003	生物多様性の保全	SDGsターゲット	6-6, 15-2, 15-4	
1 事業の概要	自然公園内の老朽化した施設の改修等を行い、利用者の安全・利便を図る。 また、自然公園での取り組みがSDGsに貢献していることをPRするための施設整備を行う。			5 事業説明 (1) 事業内容 ア みんなの美の山魅力アッププロジェクト事業 15,000千円 利用者の増加を図るために企業や地域住民等と連携した公園の魅力アップに繋がる事業を実施する。 イ 自然公園施設等修繕事業費 5,130千円→4,628千円 既存施設の機能維持を中心として修繕等を行う。 ウ 自然公園施設等更新事業費 70,243千円→65,898千円 老朽化した施設のリニューアル工事や安全対策事業を行う。						
イ 自然公園施設等修繕事業費	△502千円									
ウ 自然公園施設等更新事業費	△4,345千円									
2 事業主体及び負担区分	【環境省】自然環境整備交付金 (県55/100、国45/100)(対象事業に限る) (県10/10)(上記以外)			(2) 事業計画 市町や住民等と連携し、PRやイベントなどを活用した秩父地域の振興や活性化のための事業を進める。 県が管理している自然公園施設については、順次計画的に整備を行う。						
3 地方財政措置の状況	なし			(3) 事業効果 自然公園施設が自然や景観を楽しめる魅力にあふれ、また、快適かつ安全に利用できる施設として維持管理されることにより、多くの人々が利用する機会が増大し、自然保護に対する県民意識が醸成される。 【活動指標(アウトプット)】桜再生事業/施設修繕/施設更新 【成果指標(アウトカム)】施設管理瑕疵が原因の重大事故発生件数 ゼロ						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.7人=6,650千円			(4) 補正予算の概要 ア 経費節減による減 △502千円 イ 国費の内示減による減 △4,000千円 ウ 入札差金による減 △345千円						
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金	県債						
決定額	△4,847	△1,800		△4,000				953	84,526	
現計額	89,373	9,000	15,000	51,000				14,373		

## 事業内訳書

事業名	自然公園満喫プロジェクト事業費		
単位事業名	自然公園施設等修繕事業費	予算額	△ 502千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△502	—	
合計	△502	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△28	—	経費節減による減
需用費	△402	—	経費節減による修繕料の減
役務費	△72	—	経費節減による手数料の減
合計	△502	—	

単位事業名	自然公園施設等更新事業費	予算額	△ 4,345千円
-------	--------------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 環境費補助金	△1,800	—	【環境省】自然環境整備交付金 補助率 定額
県債・ 総務債	△4,000	—	県有施設整備事業債
一般財源	1,455	—	
合計	△4,345	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
工事請負費	△4,345	—	国費の内示が見込みを下回ったこと等による減
合計	△4,345	—	